

神山町の野鳥生息状況

鳥類班（日本野鳥の会・徳島県支部） 東 條 秀 徳¹⁾

1. はじめに

神山町は、徳島県中央内陸の山間地にあり、おおむね西南西から東北東方向を長軸としたサツマイモ型をした町である。その長軸沿いの谷間を、瀬と淵を作りながら流れ下る鮎喰川は、神山町に隣接する徳島市に至り、はじめて平野に出る。小規模な取水堰はあるが、広い止水域をつくる程ではない。町の南部は、四国山地の主尾根を形成して連続する1000m峰の北斜面となっている。北側も、標高はやや低いものの、町村境を形成して連続する標高数百mの尾根の南斜面となっている。町内最高点は、雲早山山頂近くの尾根（標高約1470m）、最低は徳島市境の鮎喰川（標高約30m）である。

町面積は約173km²であり、その約83%が山地森林である。森林面積の約70%がスギ・ヒノキ植林などの人工林であるが、これは町の南部および西部の代表的植生となっている。北部から東部は、枯れ木も目立つアカマツ群落为主体となっている。広葉樹自然林としては、柴小屋や雲早山にブナ林が、町南西部の高標高域にクリーミズナラ群落やアカシデーイヌシデ群落が、また急傾斜の溪谷斜面にはコナラ群落やシイ・カシ萌芽林が散在する。

耕作地は、面積約7.6km²と狭い。水田よりも、山腹に開かれた畑地面積が広く、ウメ・スダチ・花木の樹園が多い。江田や元山などに棚田も残るが、水田の多くは鮎喰川や支流に沿った低地にあり、5月に田植え、9月下旬から10月上旬に稲刈りをする一毛作である。

集落は、鮎喰川やその支流沿いに分散しているほか、標高約500m程度までの、主として南向きの斜面に民家が散在している。

鳥獣保護区等としては、大栗山(55ha)、神山森林公園(63ha)、焼山寺(120ha)、柴小屋(200ha)の4保護区と、須賀・養瀬(890ha)、中峰・府殿(1060ha)の2休猟区がある。

調査は1998年12月から1999年11月の1年間実施した。調査員は8名全員が町外在住者であった。双眼鏡および望遠鏡を用いて観察し、また鳴き声により確認した野鳥について種名と個体数を記録した。調査地域では、山地森林6カ所にそれぞれ調査定線を設定し、定期観察を実施した。その他、柴小屋や鮎喰川など町内各地でも一年間を通じて観察した。記録に際し、地名のみでは観察地点を正しく把握することが困難と考え、環境庁自然環境保全基礎調査用地図の、3次メッシュコードの下4桁を併記することとした(図1)。

また、調査の際に、野生哺乳類にもしばしば遭遇したので、これについても記録した。

1) 徳島市三軒屋町外24-77

2. 山地森林の野鳥

町面積の83%を山地森林が占めることから、山地森林を主要な観察対象とし、標高や植生を考慮して、低標高域では森林公園、中標高域では左右内一本杉付近および焼山寺山、高標高域としては、烏丸、砥石権現および雲早山と、6カ所の調査コースを設けた。

1) 森林公園 (表1)

全長約2.5km、標高約270～420m。大地地区の南部に、北を頂点とする概ね三角形の周回コースを設定し、歩きながら見聞きし、確認した種の名前と個体数をすべて記録した。底辺にあたるコース南部は、谷間斜面のコナラ、クヌギ、アラカシなどの広葉樹二次林を横切る遊歩道で、林床は比較的空いている。北西斜辺は、人工的な植栽や刈り込みが多い疎林の尾根道、北東斜辺は車道や駐車場である。公園管理のため、下草刈りなど森林管理が行われており、少し昔の「里山」環境を再現した環境といえる。今回の調査で、里山生態系の頂点を占めるサシバおよびフクロウの生息が確認され、さらにサシバは当地での繁殖が推定される幼鳥であった。公園ガイドブックによると森林公園内には約30種が生息するとされるが、今回は計38種が観察された。しかもガイドブック記載のキジ、アオバズク、センダイムシクイおよびルリビタキは、今回の調査では記録されていない。これから、容易に推定されるように、広大な森林公園全域では、より多くの種が生息しているものと考えられる。

また、森林公園の中で中央施設付近は、ヒトの生活圏でもあり、食堂の庇の下に人里の代表種であるスズメが営巣していた。

獣類の記録としては11月に芝生の上にノウサギの糞を見かけたただけであった。

表1 森林公園の記録

種名	観察月日										
	1/9	2/9	3/6	4/25	5/23	6/27	7/25	10/24	11/28		
1 ハチクマ					1						
2 トビ				2	3		2	3			
3 ハイタカ			1								
4 ノスリ	1										
5 サシバ							1				
6 キジバト	1	1	11	1		1					2
7 ホトトギス					2		1				
8 フクロウ			1								
9 アオゲラ					1						
10 コゲラ	1	5	2		1				1	3	
11 ツバメ						4	12				
12 コシアカツバメ							1				
13 セグロセキレイ						1					
14 ヒヨドリ	17	9	4	2	4	2			3	3	
15 モズ									1		
16 カワガラス						1					
17 ジョウビタキ	7	4	2						1		
18 アカハラ				1							
19 シロハラ	1	2	2								
20 ツグミ	1	1	1								
21 ウグイス	1	2	4	3	1	3			1	4	
22 キビタキ				1							
23 コサメビタキ						1					
24 エナガ	20	15	2		1				16		
25 ヤマガラ	1	2	8	1	1	1	1			2	
26 シジュウカラ	3	3	5	1	1				3	1	
27 メジロ	7	2	1	2		2	2	1			
28 ホオジロ	9	12	5	4	1			11	6	6	
29 カシラダカ	1										
30 ミヤマホオジロ	3										
31 アオジ	4	4	1	2							
32 カワラヒワ	1						1			1	
33 マヒワ			5								
34 ウソ	5	2									
35 スズメ						1	1				
36 カケス								1			
37 ハシボソガラス				3	4	12	2	4	2		
38 ハシブトガラス	2	4	3		1					1	
合計羽数	86	68	57	24	22	29	35	41	25		
種数	19	15	16	13	13	11	11	12	10		

2) 一本杉付近 (表 2)

鴨島町の藤井寺から焼山寺に通じる遍路道の一部で、南斜面の横巻き道である。全長約1 km、標高約620~750m。主要植生はアカマツ林であり、リョウブ、ヒサカキ、コナラなどが中層を構成する (写真1)。谷間はスギ植林で、林床は暗く、植生に乏しい。往路コースの両側各25m以内で見聞して確認した種について個体数を記録するとともに、範囲外および復路で確認した種名も記録した。

県内では1000m級の森林、またはその山腹を生息域としているオオアカゲラおよびゴジュウカラが、当地で記録された。冬季の漂行と思われるが、比較的低い標高での数少ない生息記録と思われる。

獣類では、スギの横枝でマツボックリをかじるニホンリスが観察された (写真2)。

表 2 一本杉の記録

種名	観察月日									
	1/3	2/7	4/22	5/21	6/10	7/4	8/15	9/25	10/23	
1 コジュケイ			+	+						
2 キジバト										1
3 アオバト			+	+				+		
4 ツツドリ			+	+	+					
5 ホトトギス				+	+	+				
6 アマツバメ									+	
7 アオゲラ			+	+	3		+	+	+	
8 オオアカゲラ	1									
9 コゲラ	+	1			2	3				1
10 ツバメ									+	
11 ビンズイ		+								
12 ヒヨドリ	1		1	3	1	+	3	6	+	
13 ミソサザイ			1							
14 ルリビタキ	2									
15 クロツグミ					+					
16 シロハラ	3									
17 ヤブサメ				5	1	2	2			
18 ウグイス				1	1	1	+	+	+	
19 センダイムシクイ				1	+	+				
20 キクイタダキ		1								
21 キビタキ				+	3	2	2			
22 オオルリ				+	+	1				
23 エナガ	+				2	4	+	+		
24 ヒガラ	4	14	3	2	2	+	+	+	4	3
25 ヤマガラ	2	3	1		1	+	+	+	+	5
26 シジュウカラ			2	2	1	1	1		+	2
27 ゴジュウカラ	+	1								
28 メジロ	+	1	1	2				+	1	+
29 ホオジロ			+	+	2	+	+	+	+	2
30 ミヤマホオジロ		2								
31 アオジ	+		+							
32 クロジ	1									
33 カワラヒワ				+		1				2
34 イカル					1	1				
35 カケス	1	+	+	+					+	1
36 ハシボソガラス									+	
37 ハシブトガラス		+	+	+	+	+	+	+	+	+
合計羽数	15	25	16	16	22	10	3	11	17	
種数	13	11	18	19	17	14	10	14	12	

備考1: +は計数範囲外または復路の記録を示す。

備考2: 種の不確実なものは含まない。



写真1 一本杉西のアカマツ林



写真2 スギ横枝にニホンリス

3) 焼山寺山 (表3)

樹冠部をツガ、モミ、アカマツ、スギなどの針葉樹大木が構成し、その間にアカガシやイヌシデなどの広葉樹高木、ヤブツバキ、ソヨゴ、アセビなどの中低木などが生育している自然林である。スギ植林地内に島状に残る徳島県内には珍しい植生の林と思われる(写真3)。焼山寺の裏山の東向き斜面に設定された保健保安林内の登山道を周回して(全長約3.3km、標高約650~938m)、見聞きし確認した種名を記録した。



写真3 焼山寺山

表3 焼山寺山の記録

種名	観察月日									
	1/10	2/7	4/24	6/2	7/4	8/15	9/25	10/23		
1 ヤマドリ							○		○	
2 キジバト				○			○		○	
3 アオバト			○	○			○	○		
4 ツツドリ			○	○						
5 ホトトギス				○	○					
6 アオゲラ			○	○			○	○	○	
7 コゲラ	○	○	○	○			○	○		
8 ツバメ							○			
9 キセキレイ								○		
10 ヒヨドリ			○	○	○		○	○	○	
11 ミソサザイ			○	○	○			○		
12 ルリビタキ	○									
13 クロツグミ			○	○	○					
14 シロハラ	○	○								
15 ヤブサメ			○	○						
16 ウグイス			○	○	○					
17 センダイムシクイ				○						
18 キビタキ			○	○	○					
19 オオルリ			○	○	○					
20 エナガ	○					○	○			
21 コガラ			○				○			
22 ヒガラ		○	○	○	○			○		
23 ヤマガラ	○	○	○	○			○	○		
24 シジュウカラ	○			○	○	○	○	○	○	
25 ゴジュウカラ	○	○	○	○			○	○	○	○
26 メジロ	○			○	○	○	○	○		
27 ホオジロ			○	○	○	○	○			
28 アオジ			○							
29 カワラヒワ				○						
30 イカル				○	○					
31 カケス			○	○			○	○	○	
32 ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
合計羽数										
種数	9	6	19	24	14	16	15	8		

ヤマドリ、アオバト、コガラ、ゴジュウカラなどの森林生息性の留鳥や、クロツグミ、オオルリなど夏鳥が多種記録された。表に示した種以外に夜間観察で、ヨタカとフクロウも確認した。

獣類では、リスの姿とノウサギおよびイノシシの足跡を認めた。周辺林道の夜間観察ではタヌキ、テン、ノウサギ、ハクビシンの姿を認めた。

4) 烏丸 (表4)

神山町と木屋平村の境界の尾根を木戸峠から烏丸へ登り(全長約1.5km、標高約780~1215.7m)、両側25m以内に見聞きした野鳥を計数記録した。範囲外および復路で観察された種については種名のみを記録した。なお、後記の砥石権現コースとの対比を容易にするために、個体数を1kmあたりに換算して表記した。植生は、ほぼ全域がスギ、ヒノキの植林である。尾根筋にはアカマツも生える。低木層にはシロモジ、クロモジ、ヤマコウバシなどが生えている。木屋平村側には1000mを超える付近から落葉樹が混じる所もあるが、神山町側では、烏丸山頂付近に落葉樹の低木林を見るのみであった。

表4. 烏丸・砥石権現の記録

地 点・標 高 コース全長	烏丸・約780~1215.7m						砥石権現・約950~1374.8m							
	約1.5km						約1.8km							
種名	観察月日	1/ 6	3/17	4/21	5/22	7/ 6	9/29	12/28	3/ 2	4/17	5/21	6/ 9	7/ 9	10/ 6
1	サシバ									0.6	0.6	+	+	
2	ヤマドリ					0.7		0.6		1.7	0.6	1.7		
3	キジバト				+									
4	アオバト			+	+	0.7	+				+	1.1	+	2.8
	ハト類												0.6	1.1
5	ジュウイチ										+		0.6	
6	カクコウ										+			
7	ツツドリ			+						0.6	0.6	0.6		
8	ホトトギス										+	+	+	
9	アオゲラ			+	+		+			1.7	2.2	1.1	1.1	1.1
10	オオアカゲラ								0.6	1.1			0.6	
	中型キツツキ類									0.6	+	1.7		
11	コゲラ		0.7	2		2.7	0.7	2.8	3.9	3.3		2.2	2.2	6.1
12	キセキレイ													0.6
13	ヒヨドリ	+		+		+	1.3			+	1.1	0.6		1.7
14	ミソサザイ	+	+	1.3	0.7	+			1.1	1.7	1.1	1.7	0.6	
15	カヤクグリ		0.7											
16	コマドリ									1.7	0.6			
17	コルリ													1.7
18	ルリビタキ	0.7						2.8	+				0.6	
19	マジロ													1.7
20	トラツグミ			0.7	+						+			
21	クロツグミ			+		+						1.1	+	
22	シロハラ	0.7												
	ツグミ類													0.6
23	ヤブサメ			0.7		0.7								0.6
24	ウグイス		+	0.7	1.3	1.3				1.1	1.1	1.7	3.3	3.3
25	メボソムシクイ													0.6
26	センダイムシクイ										0.6	+		
27	ムシクイ類												1.1	
28	キビタキ									0.6	1.7	1.7	2.2	
29	オオルリ										0.6	1.1	0.6	1.1
30	コサメビタキ													0.6
	ヒタキ亜科													0.6
31	エナガ			0.7		3.3	8.7	2.8	2.2	1.1		7.2	1.7	3.9
32	コガラ	1.3	1.3			5.3		2.8	1.7	8.3	3.3	1.1	1.7	2.2
33	ヒガラ	2.8	8.7	10	4.7	5.3	6	2.2	6.1	13.3	7.8	4.4	6.1	10.0
34	ヤマガラ	1.3	3.3	1.3		1.3	2	11.1	8.3	9.4	4.4	4.4	6.7	9.4
35	シジュウカラ	1.3		0.7			1.3	3.9	4.4	7.2	5.6	5.0	5.0	7.2
36	ゴジュウカラ			+			0.7	4.4	4.4	2.8	2.2	1.1	3.3	3.3
37	キバシリ					1.3								
38	メジロ			2.7	0.7		2	2.2		0.6				2.2
39	ホオジロ			1.3	1.3	1.3			0.6	+			0.6	
40	クロジ			0.7										
41	アトリ			0.7				0.6						
42	カワラヒワ				1.3				0.6					
43	マヒワ		13.3						4.4					
44	ウソ	0.7	0.7	+				3.9	+					
45	イカル				+					3.9		0.6	0.6	
	アトリ科		4											
46	カケス	+	0.7	0.7	0.7	+	2.7	0.6		5.0	3.9	1.7	2.8	4.4
47	ハシブトガラス		0.7	+				+	0.6	1.7	1.1	2.2		1.1
	不明種	0.7	0.7	4	1.3	1.3	1.3		1.1		1.7	0.6	1.1	2.2
	合計羽数	34.7	34.7	27.5	12	25.3	26.7	40.6	40.0	67.8	40.6	46.1	42.8	68.3
	種数	10	11	22	12	15	11	14	15	23	23	24	22	20

備考1：個体数は50m×1kmあたりに換算して表示した。

備考2：+は計数範囲外または復路の記録を示す。

備考3：種数には種名の不確実なものは含まない。

野鳥の生息は、カラ類のほかは、種、個体数とも少なかった。調査環境がほぼ全域スギ・ヒノキ植林という単純植生に起因するものと考えられる。その中であって、当地で記録されたキバシリは、主に針葉樹林に生息する留鳥で、県内では数少ない種とされる。井川町、穴吹町など本学会調査を通じ生息分布図が更新され、森林の調査において留意している種の一つである。

獣類では、イノシシ、カモシカ、シカ、テンの姿を見かけた。

5) 砥石権現 (表4)

「岳人の森」の上方(標高約950m)から尾根伝いに南へ、大きな崩落地3カ所を左下に見ながら登り、木沢村との境の稜線^{りょうせん}に到達後西進して砥石権現山頂(標高1374.8m)を越え、西北西の小ピーク(標高約1360m)を終点とする全長約1.8kmのコースである(写真4)。江田国有林内であって、ほぼ全域が自然林で、落葉樹ではブナ、ヒメシャラ、カエデ類、シデ類など、針葉樹ではツガ、モミ、アカマツが生育していた。木沢村境までの林床にはアセビ、シャクナゲ類が生え、木沢村境の稜線沿いにはスズタケの茂る所があった。

カッコウ類、ツグミ類など森林生息性の夏鳥や、キツツキ類、カラ類など森林生息性留鳥が多種・多数記録された。近くにあって標高や地形が類似し、植生の異なる前記コースとの差違が顕著である。

コマドリ、ルリビタキおよびコルリが繁殖期に観察された。前2種の徳島県における繁殖または繁殖期記録の多くは、剣山や高城山^{たかしろ}などの高標高域(亜高山帯～冷温帯上部)にあり、やや低い(冷温帯下部)当地の記録は希少なものであり、高城山ブナ林と連続した生息環境が存在すると推察される。



写真4 砥石権現

獣類では、カモシカ、シカ、サル、ノウサギ、リスの姿あるいは鳴き声を確認した。

6) 雲早山 (表5)

雲早山は神山町の南西部に位置し、山頂北側近くの尾根(標高約1470m)が神山町の最高地点と思われる。スーパー林道から木沢村境の尾根まで、ブナなどの広葉樹自然林内の沢沿いを登る登山道(写真5)を調査コース(全長約1.8km、標高約1120～1420m)として、両側25m以内で見聞きし、確認した種名と個体数を記録した。範囲外または復路でのみ観察された種は、種名のみを記録した。なお、林道の積雪や落石のため、冬季は入山できなかった。

5月から10月までの4回の調査で、カラ類を中心とした森林性留鳥が多く記録された。溪流生息性のミソサザイも多数観察されたが、自然林の中の沢は、本来の良好な生息環境であり、当然の結果であろう。夏鳥もコマドリ（写真6）、オオルリ（写真7）など12種が観察され、徳島県で繁殖する夏鳥の重要な繁殖地であると考えられる。県内繁殖未確認のコルリも複数個体さえずっており、繁殖している可能性が高いと思われる。

獣類では、アナグマ、シカ、テンの姿や鳴き声が確認された。

表5 雲早山の記録

種名	観察月日			
	5 / 2	6 / 6	8 / 28	10 / 16
1 ノスリ	+			
2 クマタカ	+			
3 ヤマドリ	+			
4 アオバト	+	+		
5 ジュウイチ	+	+		
6 カッコウ	+	+		
7 ツツドリ	+	+		
8 ホトトギス	+	+		
9 アマツバメ			+	
10 アオゲラ	+			1
11 オオアカゲラ	1			
12 コゲラ	1	1	+	3
13 ツバメ	+			
14 キセキレイ	+			
15 カワガラス	+	1		
16 ミソサザイ	11	5	2	4
17 コマドリ	1	1		
18 コルリ	+	+		
19 トラツグミ	+			
20 ヤブサメ			3	
21 ウグイス	3	3		2
22 センダイムシクイ	+		+	
23 キビタキ	+	+		2
24 オオルリ	1	3	+	
25 コサメビタキ	+	1		
26 サンコウチヨウ	+			
27 エナガ	1	+	+	8
28 コガラ	1	+	1	
29 ヒガラ	7	4	10	10
30 ヤマガラ	2	+	1	1
31 シジュウカラ	6	4	1	7
32 ゴジュウカラ	2	1	3	3
33 ホオジロ	+			
34 カケス	+	1		
35 ハシブトガラス	+			
合計羽数	38	25	21	40
種数	33	21	12	10

備考1：+は計数範囲外または復路の記録を示す。
備考2：種名の不確実なものは含まない。



写真5 雲早山登山道



写真6 コマドリ雄



写真7 巣材を運ぶオオルリ雌

7) 神山町の山地森林で観察された特記的な野鳥

山地森林生態系の頂点に位置する猛禽類も多種記録された。その中で、夏鳥として渡来する中型のタカであるハチクマ（写真8）およびサシバが、町東部から北部の低山域で記録され、繁殖しているものと推察される。前者の観察記録は少なかったが、後者はかなり広い地域で観察された。クマタカは国内最大のタカであるが、徳島県内の繁殖記録で公開されたものは唯一神山町の記録である。今回調査でも複数個体が観察され、町南部の1000m級の山地に、今も留鳥として生息していることが確認された。主に夜行性の猛禽類フクロウは、低地から高標高地まで、町内各地で生息が記録された。



写真8 谷の上空を飛ぶハチクマ

アオバトおよびイカルは、県内での繁殖記録がほとんど無い種だが、町内各地の標高約500m以上の森林では、繁殖期にもよく観察されている。

小型のキツツキであるアカゲラは、県内では冬鳥または旅鳥であり、生息記録もまれな種であるが、今回調査で5月3日に野間林道で1例記録された。

神山町の鳥ヤマドリも、標高約500m以上の山地森林でしばしば観察されている。

3. 河川・溪流の野鳥

近年の少雨傾向で、水流の途絶えることもあった鮎喰川だが、今期は比較的流量が確保されていた。小さな瀬や淵を繰り返しながら流れ下る鮎喰川には、広い河原や河畔植生の形成は少ないが、寄井や広野および行者野付近には比較的まとまった石原やツルヨシ群落がある。鮎喰川に流入する支流は多く、水量は比較的豊富であった。水辺の野鳥の生息地としては限られた環境と面積であったことから、種数・個体数は少なかった。以下に代表的な種の生息状況を記す。

6月から7月にかけて、オシドリの親子連れ3群（雌1・雛5、雌1・雛5、雌1・雛7）が鮎喰川で確認された（写真9）。公式記録としては四国初の繁殖記録である。オシドリは、大木の樹洞や地上に巣を作る。雛は早成性の離巢性で、かなりの距



写真9 オシドリの雛の群れと雌成鳥

離をも歩き水系に入るとされるが、当地周辺には樹洞を持つ大木も認められず、また同所に3群を同時に観察したことから、周辺のツルヨシ群落内での営巣が推察された。当地のオシドリは親・雛ともに、ヒトや野犬に対して非常に警戒感が強く、釣り人などの人影に素速く反応し、ツルヨシ群落の中へ避難していた。貴重な生息環境であり、今後とも保全すべき地域である。なお、後藤正和氏^{じんりょう}（神領）によると、支流沿いの地上や樹洞で約10年前から営巣していたとのことであった。

アオサギの繁殖地は、近年県内で分散傾向にあるが、川又の鮎喰川沿いスギ林でも1巣が営まれ、雛1羽が誕生した（写真10）。

シギ・チドリ類の記録が少ない中で、イカルチドリが、行者野から下分^{しもぶん}までの広い範囲の鮎喰川で観察され、広野の鮎喰川河原の石原では、雛も記録された。

その他、豊かな溪流を象徴するヤマセミ、アカショウビン、カワセミ（写真11）、カワガラスが記録された。その中でヤマセミは、数年前の神山町ではまだ比較的^{しもぶん}生息確認が容易な種であったが、今回は1例記録されたのみであり、巣穴も古いものしか発見できなかった。本種は、町内各地で生息が確認されたカワセミに比べ、より大きな魚を餌^{えさ}とし、より高い土崖^{つちがけ}に巣穴を掘る習性をもつ。河川や道路の改修工事による営巣適地の減少、少雨傾向による餌の不足などの生息環境悪化が懸念される場所である。アカショウビンは夏鳥として山地森林の溪流に渡来し、樹洞を巣穴とし、沢の小動物を餌とする。今回の調査では、複数の支流上部で生息が記録された。カワガラスは、水中に^{こけ}潜り、歩きながら、川底の石の間に住む昆虫などを餌とし、滝の裏側などの石の間に苔を集めて巣を作る。町内では広範囲の鮎喰川本・支流に生息していた。



写真10 巣の上に立つアオサギの幼鳥



写真11 カワセミ雄

4. 集落・農耕地の野鳥

徳島県の平野部で、集落を主な営巣地とする種に、ツバメ、スズメおよびムクドリがある。今回も集落における観察の際には、これらの種の生息と営巣に注意して観察した。

ツバメの営巣は、鮎喰川沿いの川又までの集落と、支流沿いの大地、二宮、鬼籠野、鍋岩なべいわで確認された。7月27日に広野、鬼籠野、寄井および川又で、延長約200mの道沿い両側の民家や商家におけるツバメの営巣数を数えたところ、それぞれ4、4、3、21巣が記録され、雛のいる巣もあった。商家や古い民家および車庫での営巣が多く、新しい民家での営巣は少なかった。深い庇の有無が一つの要因かと思われる。

また、ツバメの仲間のコシアカツバメの営巣は、古巣は各地で見かけたものの、今年のもは、わずかに1カ所、コンクリート製の橋の下面に、2巣を確認できたのみであった（写真12）。

スズメの生息地域も、ツバメの営巣地域と類似していたが、鮎喰川上流の川又や支流の鍋岩では記録されず、ツバメの営巣を認めなかった広石と森林公園で記録された。

ムクドリは、前2種と異なり、鮎喰川下流の行者野と広野で記録されたのみであった。

農耕地の内、水田では、これら4種のほかに、稲作時にはアマサギ、チュウサギ、コサギが生息したが、平野部水田とは異なり、群れを見ることは無かった。乾田期にはタヒバリやカワラヒワの群れに出会うこともあったが、生息する種は少なかった。

一方、町内農地の過半を占めるスタチやウメの樹園地では、冬季には森林性のカラ類や、林縁性・林床性のツグミ類やホオジロ類が多種記録された（写真13、14）。

集落近くの神社の森や山林に、小型のフクロウ類のアオバズクも、夏鳥として渡来



写真12 コシアカツバメの巣



写真13 ミノムシをついばむシジュウカラ



写真14 ミヤマホオジロ雄



写真15 アオバズク

していた（写真15）。近所の人たちの話では、毎年、姿や鳴き声を確認しているとのことであり、繁殖に適した樹洞がある大木が存在しているのであろう。

5. タカの渡り

日本で繁殖する中型のタカであるサシバやハチクマは、秋になると越冬地の東南アジアへ集団となって渡っていく。

徳島県の上空も、多数が通過している。神山町上空も通過しているものと想定し、複数個所で観察した。少数ではあったが、神山町上空を通過するタカの群れが観察された（表6）。

表6. タカの渡り

観 察 日	観 察 場 所	観 察 時 刻	サシバ	ハチクマ	その他タカ
9月25日	焼山寺	9:15～14:00	10	5	3
10月2日	松 尾	8:00～12:30	61	1	1
	焼山寺	8:40～15:45	20		
	柴小屋	8:15～15:15	3	6	3
	川井峠	8:05～15:00	3		

6. 目録

1年間の野鳥観察の結果、主として水辺環境に生息するもの24種、主として森林や草原を生息環境とするもの81種、合計105種を記録した。記録された種数は、小林による1975年の報告の79種より多くなっている。今回は、複数調査員が、町内広範囲で周年観察しており、その調査頻度の差に起因すると思われる。一方前回の記録にあって、今回観察されなかった種が12種もある。この内バン、コチドリ、タゲリ、タシギは、水田や河畔など水辺環境に生息していたと推定されるが、この20数年の間に道路や他の公共施設の建設もあり、水稲作付面積は62%にまで減少している。ヒバリとセッカは草原に生息する種であるが、こちらにも、代表的草原環境であった大地放牧場が今は森林公園となっている。これらに代表される環境の変化が、今回これら6種が観察されなかった理由の一つと推察される。他の6種（ヤマシギ、サンショウクイ、キレンジャク、ヒレンジャク、エゾビタキ、シメ）は、もともと観察が困難な種や、渡来数が少ないか年次変化が大きい旅鳥などである。

1998年12月から1999年11月までの1年間の観察記録から、各種の行動・環境等で代表的な生息記録を、1種につき2件までとして、「別表1. 神山町野鳥目録」として記載した。種名の下の方に、左から観察年月日、個体数、地名、メッシュコード、標高(m)、環境または行動、の順で記載した。また、獣類の記録も同様に「別表2. 神山町野生哺乳類目録」を作成した。

これらの内、野鳥でチュウサギ、ミサゴ、ハチクマ、オオタカ、ハイタカ、クマタカ、ハヤブサの7種、哺乳類でニホンリスの1種が、環境庁版レッドリスト記載種である。

7. おわりに

1年を通じた野鳥生息状況調査により、四国初となるオシドリ繁殖記録が得られ、またアオサギの繁殖確認や、県内で繁殖記録が未確認または少ない種であるオオタカ、アオバト、コマドリ、コルリ、ルリビタキ、キバシリ、イカルなどの繁殖可能性を示唆する繁殖期の生息が記録されるなど、広範囲な町域全体としては、豊かな生物環境が示唆された。しかし、県内の他の地域同様に、高標高地までスギ・ヒノキ植林地となり、急傾斜の山腹を縫って林道が開設されていた。統計数字にも自然林の減少や伐採地の拡大が認められる。また、河原のゴミに群がるカラスに象徴される生活廃棄物の不適切な処理も観察された。一方、広葉樹植林や道路・河川の環境整備など、環境復元・改善への具体的活動も行われている。町全域に豊かな生物環境が広がることを期待したい。

別表1 神山町野鳥目録

◎	カイツブリ目	PODICIPEDIFORMES			
○	カイツブリ科	Podicipitidae			
1	カイツブリ	Podiceps ruficollis			
	99/1/10	1 広野	0322	50	冬羽、鬼籠野谷川合流部の鮎喰川の淵
	99/1/22	1 広野字河口	0322	50	冬羽、鮎喰川で泳いだり潜ったり
◎	ペリカン目	PELECANIFORMES			
○	ウ科	Phalacrocoracidae			
2	カワウ	Phalacrocorax carbo			
	99/5/15	2 鮎喰川、駒坂	0310	70	餌探し
	99/6/5	1 広野	0322	50	鮎喰川の瀬の中の木の棒にとまっていた
◎	コウノトリ目	CICONIIFORMES			
○	サギ科	Ardeidae			
3	ゴイサギ	Nycticorax nycticorax			
	98/12/28	1 下喜来	7254	200	幼鳥、川原で休息
	99/8/15	2 鮎喰川、地野	7257	140	成幼各1、早朝、堰(せき)の北岸に
4	アマサギ	Bubulcus ibis			
	99/8/1	2 鬼籠野字川東	7381	200	夏羽、水田で採餌(さいじ)
5	ダイサギ	Egretta alba			
	99/1/22	1 広野字川口	0322	50	冬羽、鮎喰川川原でたたずんでいた
	99/5/15	2 鮎喰川、駒坂	0310	70	採餌行動
6	チュウサギ	Egretta intermedia			
	99/8/1	1 鬼籠野字川東	7381	200	夏冬中間羽、水田で採餌
7	コサギ	Egretta garzetta			
	99/4/22	2 鮎喰川、広野	0332	45	川原沿いの浅瀬に
	99/8/1	2 鬼籠野字川東	7381	200	水田で採餌後、北へ飛去
8	アオサギ	Ardea cinerea			
	99/1/3	8 下分字左右山	7245	200	ケヤキに集団でとまっていた(ねぐら?)
	99/6/20	1巢、1幼	7242	250	枯れ松の巣に幼鳥1羽
◎	カモ目	ANSERIFORMES			
○	カモ科	Anatidae			
9	オシドリ	Aix galericulata			
	99/4/24	2 川東		190	鬼籠野谷川からペアが飛び立ち東方へ飛去
	99/5/15	2 上分字江島	7241	480	雄、砂防ダム上流の川原で休息
10	マガモ	Anas platyrhynchos			
	99/1/10	20 菌の辻	0353	120	林に囲まれた谷間の池でコガモと混群

鳥類班

	99/1/22	3	上分字川又	7244	255	雄、鮎喰川と神通谷川の合流点川原
11	カルガモ		Anas poecilorhynchos			
	99/6/13	1	神領字北	7258	140	鮎喰川
	99/6/23	2	神領字地野	7257	140	鮎喰川北岸の石の上で休息
12	コガモ		Anas crecca			
	99/1/10	4	齒の辻	0353	120	林に囲まれた谷間の池でマガモと混群
	99/1/22	3	広野字川口	0322	50	雄3羽が鮎喰川に並んで浮かんでいた
◎	タカ目		FALCONIFORMES			
○	タカ科		Acciptridae			
13	ミサゴ		Pandion haliaetus			
	99/2/9	1	左右山から稲原	7255	170	鮎喰川上空を魚をつかんで飛行
14	ハチクマ		Pernis apivorus			
	99/5/23	1	森林公園	0324	300	駐車場上空を東へ飛行。尾羽が傷んでいた
	99/7/4	1	左右内	7286	400	谷の上で羽ばたかずに舞い上がり、焼山寺方面へ飛去
15	トビ		Milvus migrans			
	99/2/7	2	天ヶ滝	7229	980	尾根上空を羽ばたかず舞い上がる
	99/10/17	1	野間林道、柴小屋	7216	1250	上空を飛ぶ
16	オオタカ		Accipiter gentilis			
	98/12/13	1	下分字西寺	7255	170	八幡神社西側の鮎喰川に降りていた
	99/6/13	1	寄井	7268	220	鮎喰川上空を下流へ飛行
17	ツミ		Accipiter gularis			
	99/1/27	1	小野橋左岸	7288	140	林から飛び出し、しばらくケヤキの枝に止まる
18	ハイタカ		Accipiter nisus			
	98/12/28	1	岳人の森	7202	820	上空を北東から南西へ飛ぶ
	99/2/28	1	広野	0322	50	広野橋上空で羽ばたかず舞い上がる
19	ノスリ		Buteo buteo			
	99/1/10	1	齒の辻	0353	140	枯れ松に止まったところをトビに追い立てられた
	99/10/17	1	森林公園	0324	400	数羽のカラスに追われながら南西へ飛去
20	サシバ		Butastur indicus			
	99/4/7	1	本小野の対岸	7288	250	スギ林上空を鳴きながら飛び、その後スギ梢（こずえ）に降下
	99/7/25	1	森林公園	0324	400	幼鳥、上空を飛んだ後マツの頂にとまった
21	クマタカ		Spizaetus nipalensis			
	99/1/22	1	下分	7265	600	稜線上空、カラス3羽が追う
	99/5/2	1	雲早山	6283	1400	羽ばたかずに舞い上がった後に急降下
○	ハヤブサ科		Falconidae			
22	ハヤブサ		Falco peregrinus			
	99/9/25	1	焼山寺山北	7285	700	上空を羽ばたかずに舞い上がり、高高度へ
	99/11/21	1	柴小屋東方尾根	7218	1000	伐採地に残る枯れマツの横枝にとまっていたが、東下方へ飛去
23	チョウゲンボウ		Falco tinnunculus			
	99/2/12	1	高瀬	0343	60	
◎	キジ目		GALLIFORMES			
○	キジ科		Phasianidae			
24	コジュケイ		Bambusicola thoracica			
	99/4/17	1	上分字本根川	7129	530	国道を横断歩行
	99/5/3	2	神領字大久保	7259	270	スギ林の中の林道
25	ヤマドリ		Phasianus soemmerringii			
	99/4/17	1	砥石権現の東北東	6291	1220	雄、ドラミングしていたのがシャクナゲ類の茂みへ入る
	99/10/23	1	焼山寺	7274	720	雄、スギ大木のある混交林の林床を歩く
26	キジ		Phasianus colchicus			
	99/4/15	1	本野間	7258	250	南の山林方向から鳴き声
	99/6/26	1	鬼籠野	7381	200	集落近くの国道沿い
◎	チドリ目		CHARADRIIFORMES			
○	チドリ科		Charadriidae			
27	イカルチドリ		Charadrius placidus			
	98/12/28	1	寄井	7258	120	鮎喰川の川原で採餌
	99/5/30	2成、1雛	広野字地野々	0322		鮎喰川右岸川原。巢立ち雛に親鳥が羽を広げ影を作っていた

○	シギ科	Scolopacidae				
28	キアシシギ	<i>Tringa brevipes</i>				
	99/5/30	1 広野字地野々	0322	50	夏羽、鮎喰川右岸水際で採餌	
29	イソシギ	<i>Tringa hypoleucos</i>				
	98/12/26	1 鮎喰川、高瀬	0333	45	堰の水路の急流に	
	99/7/17	1 鮎喰川、神領字北	7258	140	川中の石に止まる	
◎	ハト目	COLUMBIFORMES				
○	ハト科	Columbidae				
30	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>				
	98/12/16	4 鬼籠野字川東	7381	200	乾田	
	99/1/3	2 下分	7255	170	鮎喰川の川原に降りていた	
31	アオバト	<i>Sphenurus sieboldii</i>				
	99/7/6	11 烏丸の南方	6187	1187	木の枝から次々飛び去る。神山側は植林だが、木屋平側は自然林	
	99/10/2	5 焼山寺山	7285	700	焼山寺の方から北西方向へ1群で飛ぶ	
◎	カッコウ目	CUCULIFORMES				
○	カッコウ科	Cuculidae				
32	ジュウイチ	<i>Cuculus fugax</i>				
	99/5/20	1 中尾谷	7239	500	深夜にさえずり声	
	99/5/22	2 雲早山	6293	1150	深夜にさえずり声	
33	カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>				
	99/5/22	2 柴小屋	7217	1050		
	99/6/12	1 雲早山	6283	1300	さえずり声	
34	ツツドリ	<i>Cuculus saturatus</i>				
	99/4/17	1 江田谷奥	7213	700	上方からさえずり声	
	99/4/17	1 岳人の森	7201	1130	山林でさえずり声	
35	ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>				
	99/5/20	1 柴小屋	7217	1000	快晴の夜にさえずり声	
	99/7/25	1 森林公園	0324	340	下の方から数回さえずり声	
◎	フクロウ目	STRIGIFORMES				
○	フクロウ科	Strigidae				
36	アオバズク	<i>Ninox scutulata</i>				
	99/5/23	1		180	神社境内のスギの枝にとまっていた。7月4日も確認	
	99/6/5	1 広野	0332	60	AM3:55遠くから鳴き声	
37	フクロウ	<i>Strix uralensis</i>				
	98/12/13	1 スーパー林道雲早山	7215	1200		
	99/5/20	1 柴小屋	7207	1150	快晴の夜にさえずり	
◎	ヨタカ目	CAPRIMULGIFORMES				
○	ヨタカ科	Caprimulgidae				
38	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>				
	99/5/20	3 柴小屋	7207	1150	快晴の夜に鳴き声	
	99/6/2	1 焼山寺	7275	750	AM4時ごろ、自然林方向から大きな鳴き声	
◎	アマツバメ目	APODIFORMES				
○	アマツバメ科	Apodidae				
39	アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>				
	99/3/26	3 野間林道旭丸峠	7216	1200	上空を飛ぶ	
	99/9/25	15 焼山寺	7284	700	上空を西へ飛ぶ	
40	ヒメアマツバメ	<i>Apus affinis</i>				
	99/2/9	15 長瀬	0321	70	上空を群で採餌飛行	
	99/10/2	10 焼山寺山	7285	700	駐車場上空を飛ぶ	
◎	ブッポウソウ目	CORACIFORMES				
○	カワセミ科	Alcedinidae				
41	ヤマセミ	<i>Ceryle lugubris</i>				
	99/7/25	1 鮎喰川、神領字北	7257	140	ケレツケレツと鳴きながら上空を飛行	
42	アカショウビン	<i>Halcyon coromanda</i>				
	99/5/3	2 柴小屋	7207	1150	自然林の谷からさえずり声	
	99/6/20	1 上分字本根川	7119	550	森に覆われた鮎喰川溪流沿いからさえずり声	
43	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>				
	99/1/10	1 広野	0322	40	梁（やな）の木の棒に止まる	

鳥類班

	99/3/27	3	寄井喜多橋上流	7257	130	鮎喰川の川面を鳴きながら飛び交う
◎	キツツキ目		PICIFORMES			
○	キツツキ科		Picidae			
44	アオゲラ		Picus awokera			
	99/5/23	1	森林公園	0324	300	ヤマザクラ群生林でピョーピョー、その後キョツキョツと鳴く
	99/10/23	1	焼山寺山	7274	800	大木の混じった混交林
45	アカゲラ		Dendrocopos major			
	99/5/3	1	野間林道	7226	900	雄、林道沿いのアカマツやヤナギの枝を移動
46	オオアカゲラ		Dendrocopos leucotos			
	99/1/3	1	一本杉遍路道	7296	750	谷に生えたヤマザクラの幹をつつく
	99/1/6	1	神山・木沢・木屋平境	6188	1430	神山側から飛来しカラマツにとまる。林床は積雪
47	コゲラ		Dendrocopos kizuki			
	99/5/23	1	森林公園	0324	340	林の中、ギーと鳴き飛ぶ
	99/6/10	2	一本杉遍路道	7295	650	スギ林の中の枯マツで採餌
◎	スズメ目		PASSERIFORMES			
○	ツバメ科		Hirundinidae			
48	ツバメ		Hirundo rustica			
	99/3/28	3	神領字寄井	7258	140	野間谷橋上空を飛ぶ
	99/5/23	6	神領字寄井	7257	100	4雛2成鳥、医院の玄関上の1巣に親が虫を運び給餌
49	コシアカツバメ		Hirundo daurica			
	99/5/23	2	下分字西寺	7255	160	鮎喰川上空を飛ぶ
	99/6/13	3	日々木橋	7258	100	コンクリート橋の下面の2巣に出入り
50	イワツバメ		Delichon urbica			
	99/3/28	5	下分字松の本	7255	145	鮎喰川上空で飛び回る
	99/4/10	5	上分	7242	240	小学校前の鮎喰川上空
○	セキレイ科		Motacillidae			
51	キセキレイ		Motacilla cinerea			
	99/5/22	1	神山・木屋平・木沢境	6188	1430	山林上を飛んでいく
	99/8/1	3	鬼籠野字笠置	3403	270	谷川沿いで採餌、2羽は若鳥?
52	ハクセキレイ		Motacilla alba			
	99/1/20	2	駒坂	0310	70	
	99/2/5	2	行者野	0344	40	
53	セグロセキレイ		Motacilla grandis			
	99/5/3	1幼、2成	鮎喰川高瀬の堰上流	0333	45	川原で成鳥2羽が、それぞれ幼鳥1羽に羽虫を給餌
	99/5/30	1巣、2成	神領字本小野	7288	120	虫をくわえ製材所屋根裏の巣に入った
54	ビンズイ		Anthus hodgsoni			
	99/1/10	1	中尾谷	7239	450	アカマツの枝に止まる
	99/2/20	2	阿野字阿川	7298	200	ウメの枝に止まる
55	タヒバリ		Anthus spinoletta			
	98/12/26	9	鬼籠野字川東	7381	200	田で採餌
○	ヒヨドリ科		Pycnonotidae			
56	ヒヨドリ		Hypsipetes amaurotis			
	99/1/3	17	神領字谷	7257	210	庭のモチ、ナンテンにとまり採餌
	99/3/13	100	阿野字阿川	7298	200	ミカン類の木に群
○	モズ科		Laniidae			
57	モズ		Lanius bucephalus			
	99/6/12	1	野間林道	7216	1200	雄、崩壊道路の回復工事現場の架線にとまる
	99/10/30	1	四国の道	7218	970	雌、枯れ木の横枝にとまる
○	カワガラス科		Cinclidae			
58	カワガラス		Cinclus pallasii			
	99/5/23	3	下分字三ツ木	7235	250	2成鳥、1若鳥、左右山谷川の水際で採餌
	99/6/27	1	森林公園	0324	350	泉の広場の下で採餌
○	ミソサザイ科		Troglodytidae			
59	ミソサザイ		Troglodytes troglodytes			
	99/4/10	1	奥屋敷	7108	1	溪流沿いのやぶの中
	99/4/19	3	スーパー林道雲早山	6293	1100	コケを運ぶ
○	イワヒバリ科		Prunellidae			

60	カヤクグリ 99/1/3	2	<i>Prunella rubida</i> 柴小屋	7217	1160	広葉樹を植林したススキ原でティリリティリリと鈴のように鳴く
	99/3/17	1	烏丸	6197	1200	落葉樹低木林
○	ヒタキ科		Muscicapidae			
・	ツグミ亜科		Turdinae			
61	コマドリ 99/5/30	3	<i>Erithacus akahige</i> 雲早山	6283	1300	落葉樹林下層植生のササやぶでさえずり
	99/6/13	1	砥石権現の西	6290	1330	ブナ林下のササやぶでさえずり
62	コルリ 99/6/12	2	<i>Erithacus cyane</i> 雲早山	6283	1300	下層にササが茂ったブナ林でさえずり
	99/7/6	2	神山・木沢・木屋平境	6188	1430	落葉樹二次林でさえずり
63	ルリビタキ 99/2/6	1	<i>Tarsiger cyanurus</i> 鬼籠野字笠置	0314	250	雄、溪流で採餌
	99/7/9	1	砥石権現の北東	6291	1270	落葉樹とツガの林でさえずり
64	ジョウビタキ 98/12/13	1	<i>Phoenicurus auroreus</i> 経の坂峠	7282	750	雄、国道横の小木にとまっていた
	99/1/9	1	鬼籠野字笠置	0314	250	雌、溪流で採餌
65	マミジロ 99/1/31	3	<i>Turdus sibiricus</i> 砥石権現の北東	6291	1220	ブナなどの自然林、低木にとまりカッカッと鳴いてこちらを見る
66	トラツグミ 99/1/31	2	<i>Turdus dauma</i> 鬼籠野字笠置	0314	250	梅林で採餌
	99/5/22	1	烏丸の南東	6188	1200	尾根の林床から飛び立つ
67	クロツグミ 99/6/5	2	<i>Turdus cardis</i> 元山林道	7341	680	雄、雌、林道沿いのアカマツ混交林の下層植生の中
	99/6/10	1	中尾谷	7239	550	斜面林の中の枯マツの梢でさえずる
68	アカハラ 99/4/17	1	<i>Turdus chrysolaus</i> 川又	7242	200	早朝にさえずり
	99/4/25	1	森林公園	0324	340	雄、土の道で採餌
69	シロハラ 99/1/3	1	<i>Turdus pallidus</i> 左右山	7245	160	鮎喰川川原
	99/2/9	2	森林公園	0324	340	林床部にて採餌
70	ツグミ 99/2/20	6	<i>Turdus naumanni</i> 阿野字阿川	7298	200	梅林の林床で採餌
	99/11/21	8	柴小屋	7217	1200	落葉広葉樹二次林の枝を移動
・	ウグイス亜科		Sylviinae			
71	ヤブサメ 99/4/21	1	<i>Cettia squameiceps</i> 木戸峠	7108	750	鮎喰川沿いの山林でさえずり
	99/4/22	5	一本杉西の遍路道	7295	650	アカマツ林の下層植生中からさえずり声
72	ウグイス 99/6/10	4	<i>Cettia diphone</i> 一本杉西の遍路道	7295	700	アカマツ林下層植生中を家族群で移動
	99/9/25	1	焼山寺	7284	700	駐車場造成斜面のブッシュの中を移動
73	オオヨシキリ 99/5/23	1	<i>Acrocephalus orientalis</i> 広野、鮎喰川右岸	0322	50	ツルヨシ群落の中からさえずり声
74	メボソムシクイ 99/10/6	1	<i>Phylloscopus borealis</i> 砥石権現	6290	1350	落葉樹林、茂みで地鳴き
75	センダイムシクイ 99/4/17	1	<i>Phylloscopus occipitalis</i> 江田谷奥	7213	700	スギ林からさえずり
	99/5/2	1	上分字川又	7242	250	
76	クイタダキ 99/2/7	1	<i>Regulus regulus</i> 一本杉西の遍路道	7295	700	尾根のアカマツ林
	99/11/21	2	野間林道	7217	780	胸高直径約25cmのスギ植林で、幹や枝を移動しながら採餌
・	ヒタキ亜科		Muscicapinae			
77	キビタキ 99/4/24	1	<i>Ficedula narcissina</i> 森林公園	0324	270	雄、大ヤマモモの近くの木にとまりさえずる
	99/6/5	1	一ノ坂	0303	160	雄、沢沿いの照葉樹林で下層の横枝に止まる
78	オオルリ		<i>Cyanoptila cyanomelana</i>			

鳥類班

	99/5/9	4	雲早山	2590	1150	高い梢でさえざる
	99/8/15	2	焼山寺山	7274	900	幼鳥、山頂部尾根の、ヒノキ広葉樹混交林の樹冠部を移動
79	コサメビタキ		Muscicapa latirostris			
	99/6/6	1	雲早山登山道	6283	1300	地上近くの横枝にとまる
	99/6/27	1	森林公園	0324	270	大ヤマモモ近くのアカマツに止まっていた
	カササギヒタキ亜科		Monarchinae			
80	サンコウチヨウ		Terpsiphone atrocaudata			
	99/6/15	1	かみかわ橋の南	7299	120	下層植生のあるスギ林からさえずり声
	99/7/4	1	鬼籠野	7392	200	クリ、コナラ、スギなどの混交林でさえずり声
○	エナガ科		Aegithalidae			
81	エナガ		Aegithalos caudatus			
	99/4/17	2	砥石権現	6290	1360	樹高約18mのブナの幹の高さ約12mの二また部分に造巢中
	99/11/21	5	柴小屋	7217	1200	リョウブなどの低木をカラ類と採餌移動
○	シジュウカラ科		Paridae			
82	コガラ		Parus montanus			
	99/4/24	2	焼山寺山山頂	7274	938	混交林
	99/11/21	5	柴小屋	7207	1100	混交林の枝や幹で採餌
83	ヒガラ		Parus ater			
	99/1/6	50	烏丸の北	6197	1100	他のカラ類とともにアカマツ、スギ、ヒノキで採餌
	99/5/2	7	雲早山	6283	1200	枯れ木の樹洞にコケを運ぶ
84	ヤマガラ		Parus varius			
	99/1/9	1	森林公園	0324	400	他のカラ類と混群を形成
	99/7/9	5	岳人の森入口の北	7201	1140	落葉樹、ツガ、アセビなどの林、親子連れ
85	シジュウカラ		Parus major			
	99/5/30	2	雲早山	6283	1300	木の根元の穴に出入りする
	99/7/9	1	岳人の森入口の北	7201	1140	幼鳥または若鳥、不完全ながらさえざる
○	ゴジュウカラ科		Sittidae			
86	ゴジュウカラ		Sitta europaea			
	99/5/30	2	雲早山	6283	1300	青虫をくわえて移動
	99/11/21	5	柴小屋	7207	1100	冬枯れの針広混交林の幹や枝を移動しながら採餌
○	キバシリ科		Certhiidae			
87	キバシリ		Certhia familiaris			
	99/7/6	2	烏丸の北	6197	1010	ヒノキの枝や幹を探りながら上がって行き、次々と別の木へ移る
	99/9/23	1	野間林道	7228	650	カラ類混群中、スギにとまる
○	メジロ科		Zosteropidae			
88	メジロ		Zosterops japonica			
	99/1/10	15	齒の辻	0353	140	1本のビワの花に群れる
	99/3/13	50	阿野字阿川	7298	200	ウメの木に集まる
○	ホオジロ科		Emberizidae			
89	ホオジロ		Emberiza cioides			
	99/1/22	6	下分字今井	7244	187	田んぼで採餌
	99/5/16	5	雲早山スーパー林道	6293	1100	雌が枯れ草をくわえ低木の根元へ
90	カシラダカ		Emberiza rustica			
	99/1/27	14	元山	7361	340	棚田休耕田のススキ原とスダチ園の林床
	99/2/27	50	阿野字阿川	7298	200	梅林で採餌
91	ミヤマホオジロ		Emberiza elegans			
	99/1/9	3	森林公園	0324	400	ブッシュ内および中木の枝に
	99/3/13	7	阿野字阿川	7298	200	梅林の林床
92	アオジ		Emberiza spodocephala			
	98/12/26	1	高瀬	0333	45	鮎喰川沿いのブッシュに
	99/2/9	4	松尾	0207	230	スギ植林の幼生林床で採餌
93	クロジ		Emberiza variabilis			
	98/12/20	2	鮎喰川源流	6198	900	雄、雌、沢沿いのスギ壮年林の林床
	98/12/26	1	一本杉	7296	750	雄、アカマツとスギの混交林でヒサカキなどの生える林床に
○	アトリ科		Fringillidae			

94	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>						
	98/11/30	4	砥石権現の東北東	6291	1330	ブナ林、地上やブナの枝などに		
	99/11/7	30	スーパー林道旭ノ丸	7215	1200	紅葉の広葉樹二次林		
95	カワラヒワ	<i>Carduelis sinica</i>						
	98/12/26	150	鬼籠野字川東	7381	200	田で採餌		
	98/12/26	7	城川内	7296	520	民家の庭の木に		
96	マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>						
	98/12/26	30	一本杉遍路道	7296	750	アカマツ林の梢で採餌		
	99/1/6	50	烏丸の南東	6188	1350	ブナ、ツガ、アセビなどに止まり、にぎやかに鳴く		
97	ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i>						
	98/12/12	1	鬼籠野字笠置	0314	250	雄		
	98/12/13	2	神通谷川	7202	500	雄雌各1、キャンプ場下流の川原で		
98	ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>						
	98/12/28	5	砥石権現	6290	1360	雄1、雌4、落葉樹低木に止まる		
	99/1/9	5	森林公園	0324	400	園内のサクラの花芽を採食		
99	イカル	<i>Eophona personata</i>						
	99/1/3	13	京地	7256	180	上空を飛行後、民家裏の広葉樹にとまる		
	99/6/24	2	元山林道	7341	630	アカマツ混交林でさえずり声		
○	ハタオリドリ科	Ploceidae						
100	スズメ	<i>Passer montanus</i>						
	99/1/3	5	左右山	7245	180	電線に		
	99/6/27		森林公園	0324	360	食堂北入口の庇に1巣、約10日前に巣立ったとのこと		
○	ムクドリ科	Sturnidae						
101	ムクドリ	<i>Sturnus cineraceus</i>						
	99/6/12	2	南行者野	0344	40	県道沿いの電線に		
	99/7/4	40	南行者野	0344	40	鮎喰川や集落の上を飛び電線に群れる		
○	カラス科	Corvidae						
102	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>						
	99/5/3	10	柴小屋	7207	1100	針葉樹林を2羽で飛ぶ		
	99/5/30	5	雲早山	6283	1300	枝先にぶら下がって採餌		
103	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>						
	98/12/26	4	神領字寄井	7258	100	鮎喰川川原で採餌		
	99/4/15	30	神領字寄井	7258	160	ゴミを燃やしている野間谷川の川原に群れる		
104	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>						
	99/1/3	30	左右山	7245	160	宮前橋付近の鮎喰川の川原や岸の木の枝に		
	99/10/17	13	スーパー林道旭ノ丸	7215	1300	一群となって尾根から舞い上がる		
(野生化種)								
105	ドバト	<i>Columba livia</i>						
	99/5/3	1	井ノ谷	0310	80	電線に		
	99/5/3	1	中津	7259	170	民家の屋根に		

別表2 神山町野生哺乳類目録

1	ニホンザル (サル目オナガザル科)							
	98/12/28	2	砥石権現の東北東	6291	1230	落葉樹の多い林で鳴き声		
	99/10/23	3	上角谷	7249	220	2頭が林道を横切り、1頭が対岸の広葉樹の上に		
2	ノウサギ (ウサギ目ウサギ科)							
	99/3/2		砥石権現の東北東	6290	1310	雪の上に糞		
	99/5/17	1	焼山寺山北	7284	700	夜、林道に		
3	ニホンリス (ネズミ目リス科)							
	98/12/28	2	柴小屋北東	7207	1080	アカマツの根元のアセビの茂みで何かをかじる。その後走り去る		
	99/6/12	1	国道193号	7201	700	日中に道路を横切る。周囲はスギ林		
4	タヌキ (ネコ目イタチ科)							
	99/5/17	1	焼山寺山北	7274	750	夜、林道に		
	99/6/12	1	国道193号	7210	550	夜、道路を横切る。周囲はスギ林		

鳥類班

5	テン (ネコ目イタチ科)					
	99/4/21	1	烏丸	6197	1215	こちらを避けるように、低木林の中を回り道して、歩いて行く
	99/6/12	1	雲早山	6283	1300	ヒガラの巣穴と思われる枯れ木の樹洞入り口でゴソゴソする
6	アナグマ (ネコ目イタチ科)					
	99/5/30	1	雲早山	6283	1300	ササやぶの中を移動
7	ハクビシン (ネコ目ジャコウネコ科)					
	99/5/17	1	左右内谷上流	7284	560	夜、車道に
	99/6/12	1	今井、国道438号	7244	180	夜、集落の中
8	ニホンイノシシ (ウシ目イノシシ科)					
	99/3/17	1	烏丸の南	6187	1200	こちらには気付かず、鼻面を地面につけ気味にして歩いて行く
9	シカ (ウシ目シカ科)					
	99/4/17	1	江田谷の奥	7213	700	林道終点のスギ林を上方へ走り去る
	99/6/12	1	雲早山	6283	1200	ブナ林斜面で、白いしりを見せ、ビィと鳴く
10	カモシカ (ウシ目ウシ科)					
	98/12/28	1	砥石権現の西	6290	1180	沢に近いスギ林、ドタドタと少し走って止まりこちらを見る
	99/5/21	1	岳人の森の上方	7201	1100	ブナ、ツガなどの林、林床をゆっくり、のっそり歩いて行く

調査参加者

市原眞一、大村龍一、笠井正、曾良寛武、東條秀徳、新居正利、松田幸伸、増谷正幸、三ツ井政夫、三宅武、八巻吉子

(神領在住の後藤正和・岸良資両氏には、環境や鳥獣に関し多々ご教示いただいた)

写真撮影者

写真 1～4, 7, 8, 11, 14, 15：東條秀徳、 写真 5, 6, 9, 10, 12, 13：三ツ井政夫

参考文献

1. 徳島県(1996)：徳島県環境資源図〔現存植生・土地利用図〕. 徳島県.
2. 徳島県(1998)：平成10年度徳島県鳥獣保護区等位置図. 徳島県.
3. 徳島県総務部市町村課(1999)：平成11年度徳島県市町村要覧. 徳島県市町村振興協会.
4. 中国四国農政局徳島統計情報事務所(1977)：徳島農林水産統計年報 (昭和51～52年). 徳島農林統計協会.
5. 中国四国農政局徳島統計情報事務所(1999)：徳島農林水産統計年報 (平成9～10年). 徳島農林統計協会.
6. 中国四国農政局徳島統計情報事務所(1999)：徳島農林水産累計統計. 中国四国農政局徳島統計情報事務所.
7. 環境庁自然保護局野生生物課(1998)：哺乳類及び鳥類のレッドリストの見直しについて. 環境庁.
8. 中村登流・中村雅彦(1995)：原色日本野鳥生態図鑑〈水鳥編〉. 保育社.
9. 日本野鳥の会徳島県支部目録部(1988)：徳島県鳥類目録. 日本野鳥の会徳島県支部.
10. 小林実(1976)：神山町の野鳥. 総合学術調査報告 神山町 郷土研究発表会紀要、22、59-63.
11. 徳島県農林水産部林業政策課・日本野鳥の会徳島県支部：第6次鳥獣保護事業における鳥獣生息状況の調査報告書〔1987年4月1日から1992年3月31日〕. 徳島県.
12. 徳島県農林水産部林業振興課・日本野鳥の会徳島県支部：第7次鳥獣保護事業における鳥獣生息状況の調査報告書〔1992年4月1日から1997年3月31日〕. 徳島県.
13. 三ツ井政夫(1999)：名西郡神山町におけるオシドリの繁殖. 野鳥徳島、251、3-5.